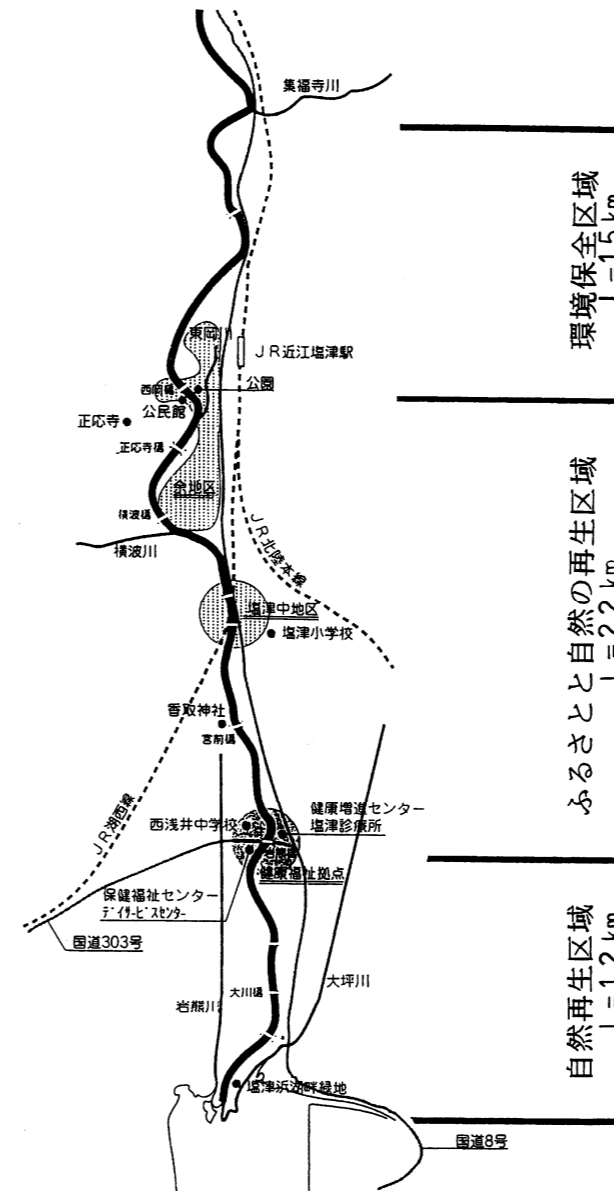


↑↑ : 横断面の位置
● : 整備実施予定の横断工作物

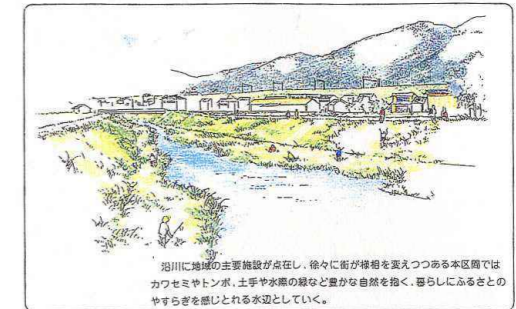
大川平面図



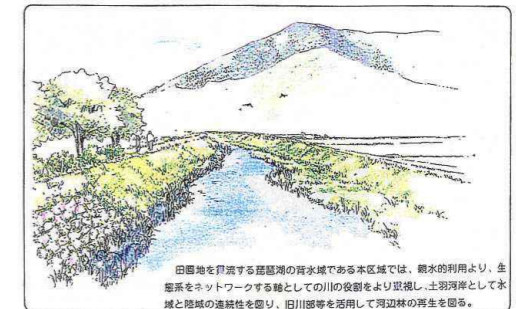
区域図



③環境保全区域



②ふるさとと自然の再生区域

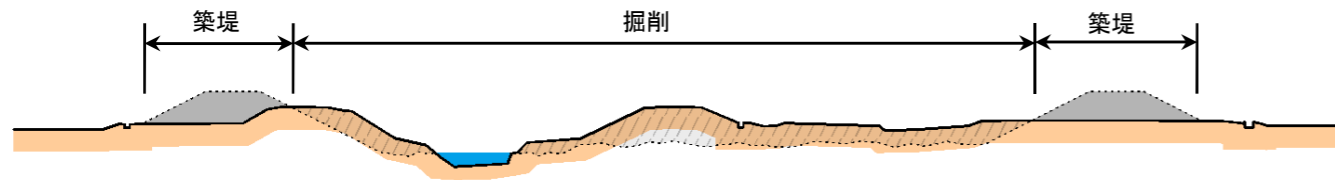


①自然再生区域

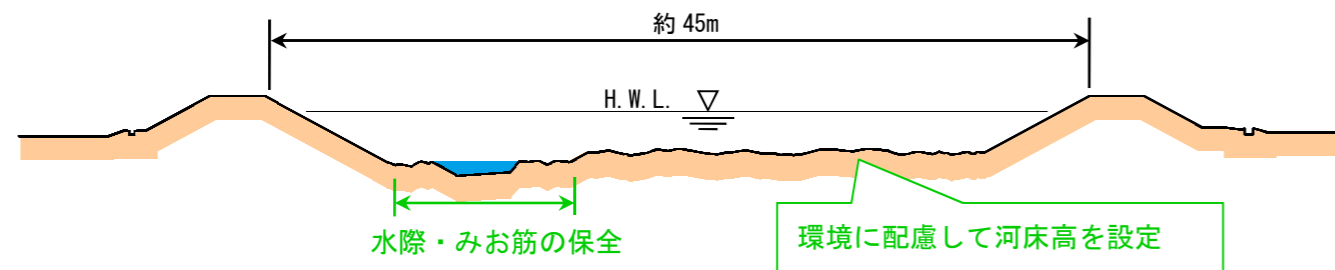
出典「第1回 淡海の川づくり検討委員会(大川) 資料」

大川橋下流付近(河口から約0.4km)

【改修前】



【改修後】



注：築堤・掘削の形状は状況により変更することがあります。

大川横断面図

【塩津港遺跡の遺構面保全について】

塩津港遺跡については、文化庁との協議の結果、以下の考え方で保全するものとしている。

■遺構面の保全の考え方

河道計画にあたり、流下能力を確保し、かつ遺跡保護が可能となる横断形状を設定したうえで、流れの解析を実施したところ、洪水時には覆土のみで保護を行った場合、遺構面が洗掘される恐れがあることが分かった。このため、コンクリートパネル設置等による遺構面の保全を行うものとした。

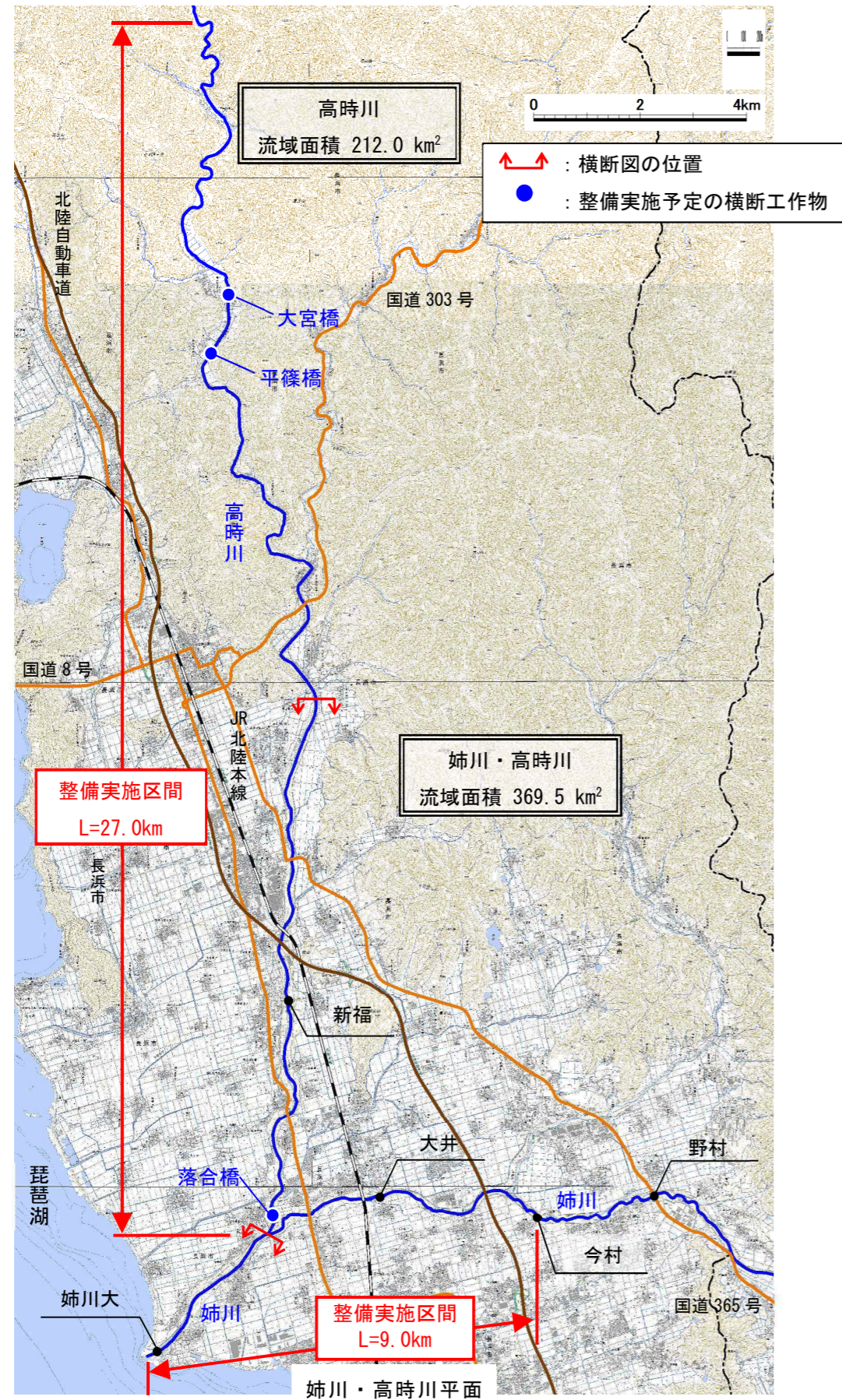
※遺構面の保全範囲 約3,900㎡(延長約155m 幅約25m)

※遺構面の保全にあたっては、みお筋の保全にも配慮する。

3.1.3 姉川・高時川

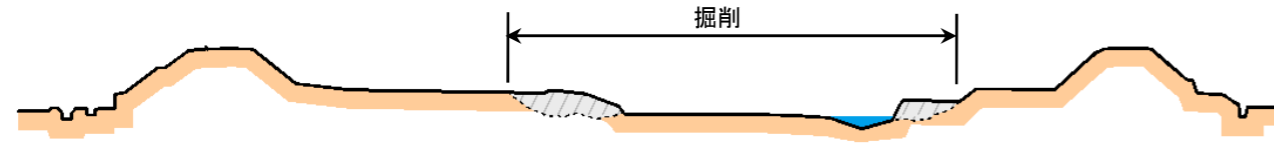
姉川・高時川では、流下能力が不足する区間について、低水路の拡幅、築堤等により河積の拡大を図ります。河積の確保にあたっては、整備実施区間の一部が「アユの保護水面」(水産資源保護法にもとづく産卵・繁殖に重要な水面)に指定されているため、低水路のみお筋部は可能な限り現況を維持するものとし、魚類への影響に配慮します。また、築堤にあたっては、河川利用等への影響に配慮します。

また、周辺地下水位の把握に努め、姉川・高時川周辺の農業用水利用や地下水利用への影響などを十分考慮します。周辺の水利用への影響がある場合には、関係者と事前に十分な協議を行い適切な対応策を講じます。

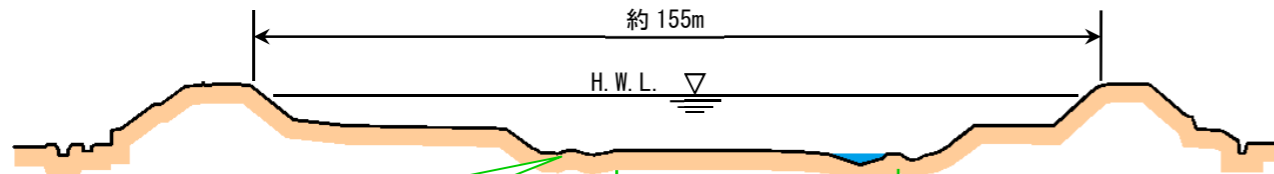


難波橋付近(河口から約3.0km)

【改修前】



【改修後】



環境に配慮した掘削

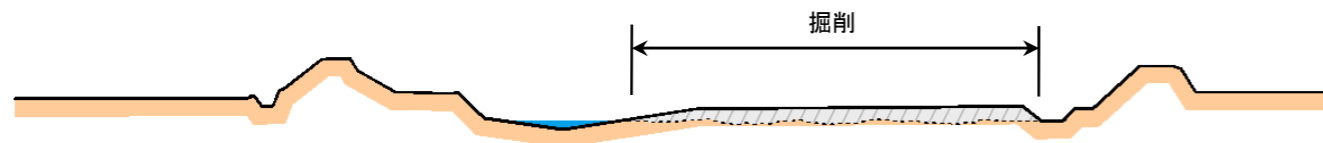
水際・みお筋の保全

注: 築堤・掘削の形状は状況により変更することがあります。

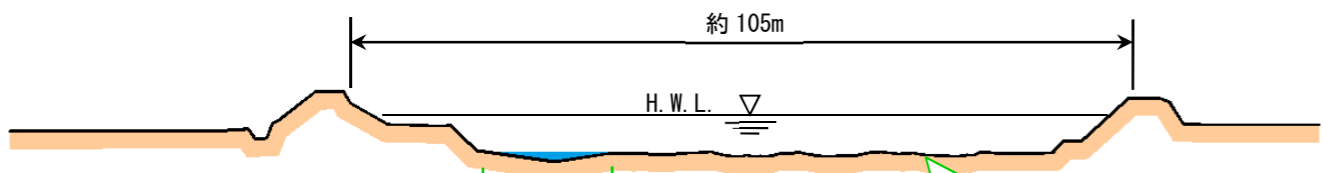
姉川横断面図

井明神橋下流付近(姉川合流点から約9.9km)

【改修前】



【改修後】



水際・みお筋の保全

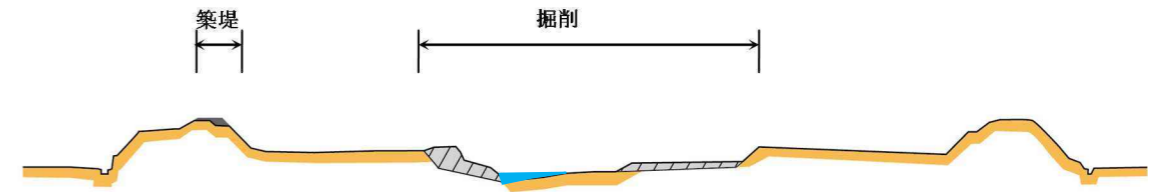
環境に配慮した掘削

注: 築堤・掘削の形状は状況により変更することがあります。

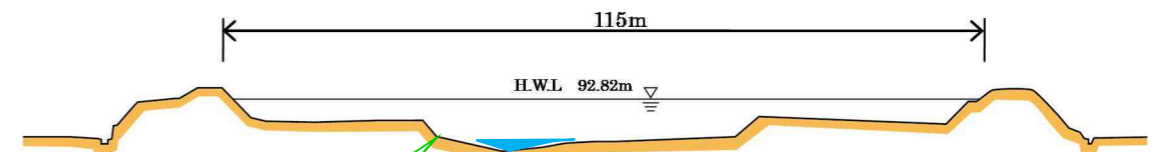
高時川横断面図

【参考】河口から3.2km地点

【改修前】



【改修後】



環境に配慮した掘削

みお筋の保全

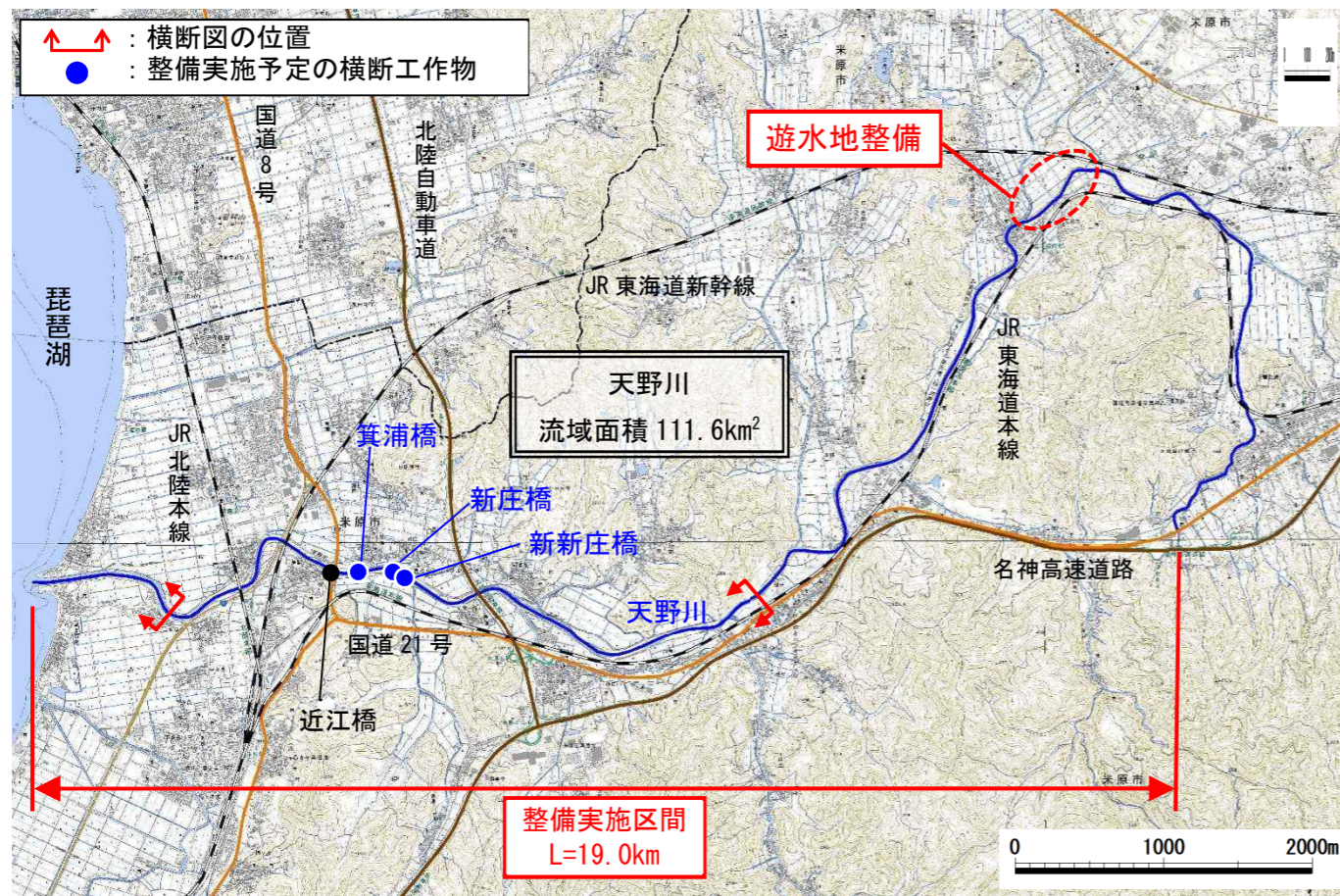
姉川横断面図

3.1.4 天野川

天野川では、流下能力が不足する区間について、河道掘削等により河積の拡大を図るとともに、上流部に洪水を一時的に貯留する遊水地を整備します。河積の確保にあたっては、河川の連続性に配慮し、瀬・淵など変化に富んだ河道が維持され、アユやビワマス等の魚類をはじめ、多くの生物が生息・生育・繁殖できるような多様な流れを有する環境の保全・再生に努めます。周辺の水利用への影響がある場合には、関係者と事前に十分な協議を行ったうえで、適切な対応策を講じます。

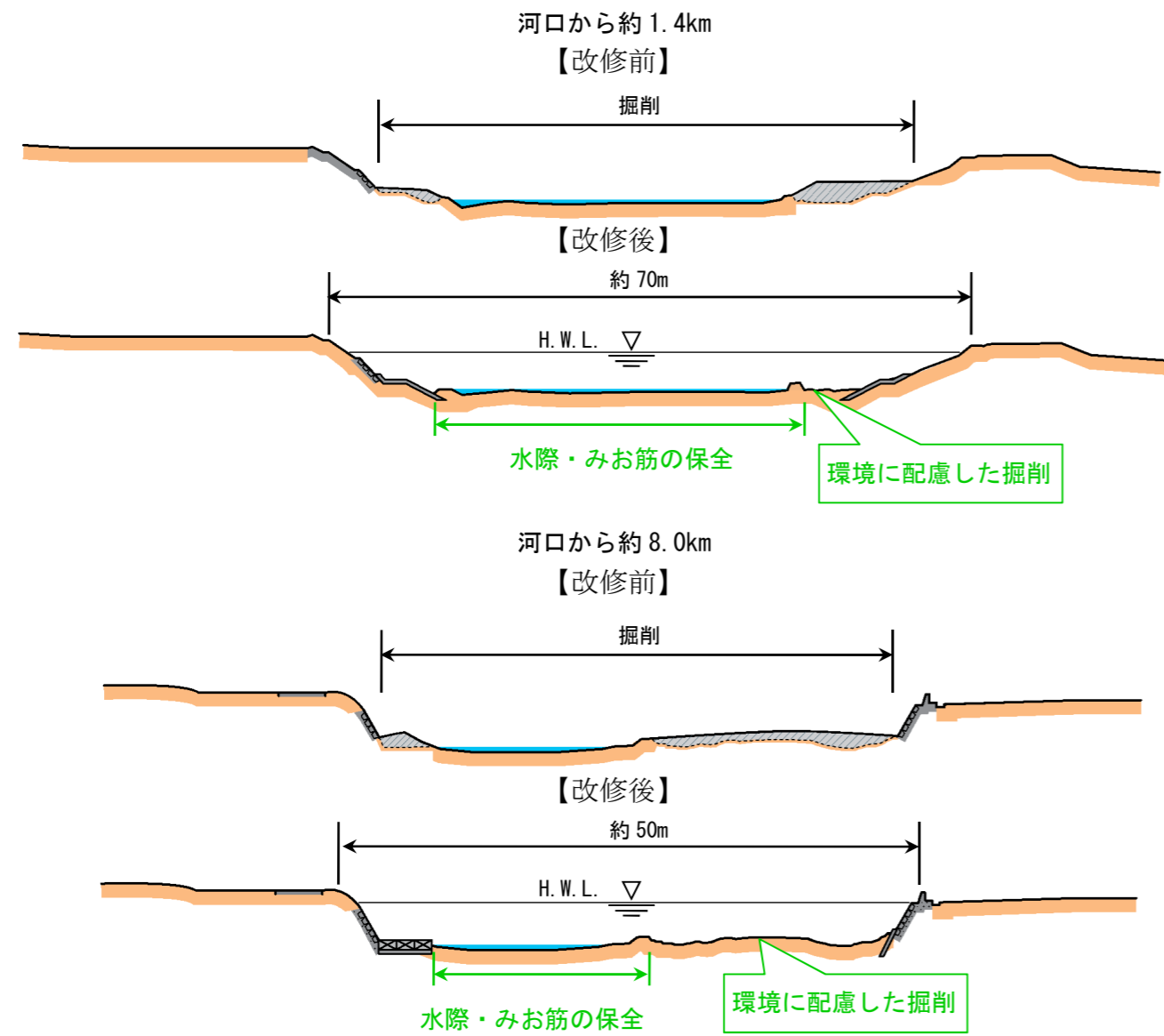
また、国の天然記念物に指定されている「長岡のゲンジボタルおよびその発生地(特別天然記念物)」や「息長ゲンジボタル発生地」、米原市蛍保護条例で指定された特別保護区域等では、関係機関と協議を行い、ホタルの生息環境等に配慮し整備します。

「長岡のゲンジボタルおよびその発生地」は、文化財保護法第 109 条第 2 項の規定により、天然記念物のうち、世界的に又は国家的に価値が特に高いもの、として 1952 年(昭和 27 年)に特別天然記念物に指定



注：遊水地整備箇所は今後の検討により変更となる場合があります。

天野川平面図

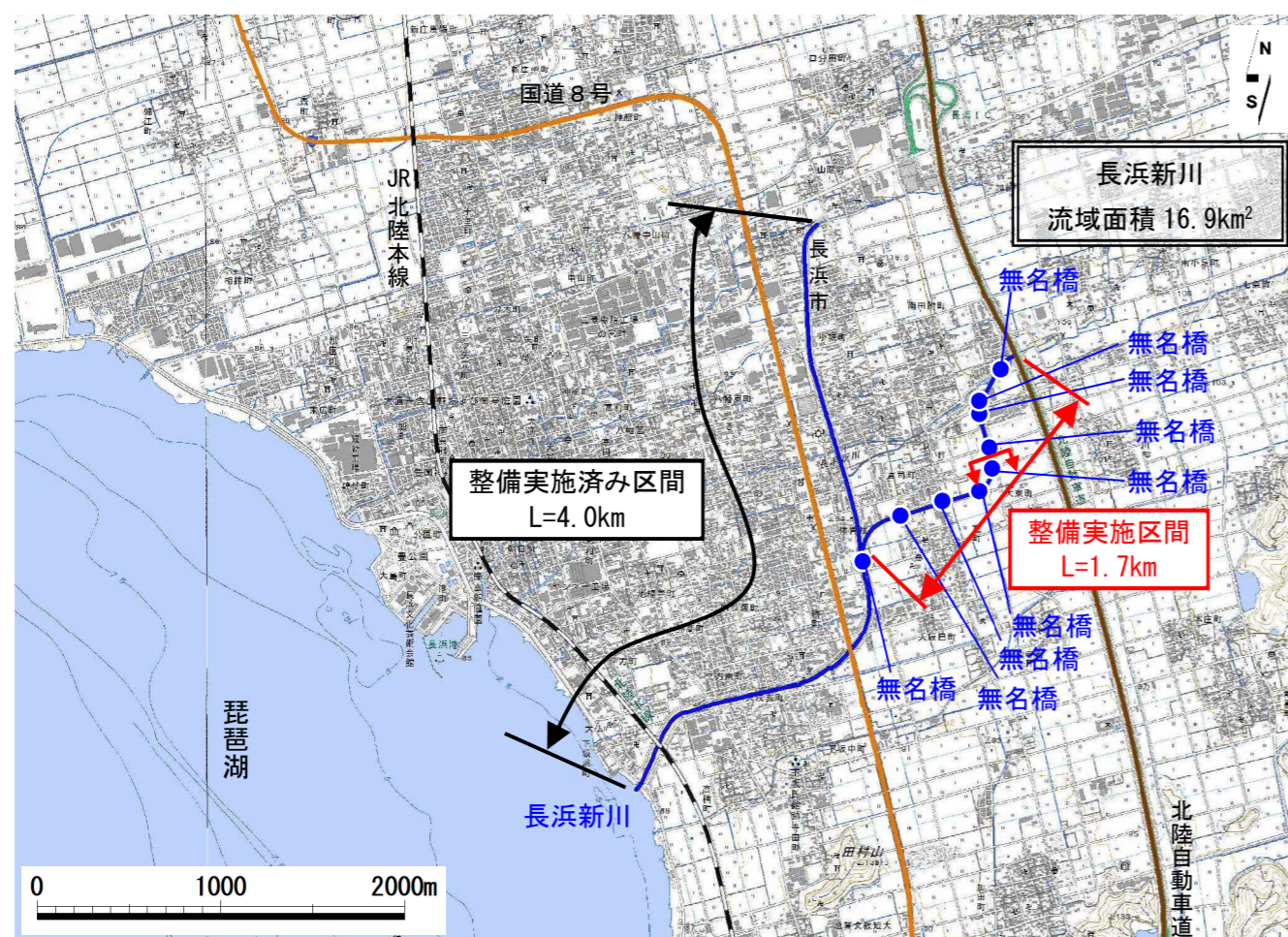


注：築堤・掘削の形状は状況により変更することがあります。

天野川横断図

3.1.5 長浜新川

長浜新川は、新たに放水路を開削し、米川、十一川および薬師堂川の洪水をカットして琵琶湖に放流します。今回の整備実施区間は、国道8号東方から北陸自動車道までの区間を開削し、十一川の洪水をカットするものです。市民により身近な河川として親しまれ、潤いをもたらす空間としての役割を果たせるように整備します。

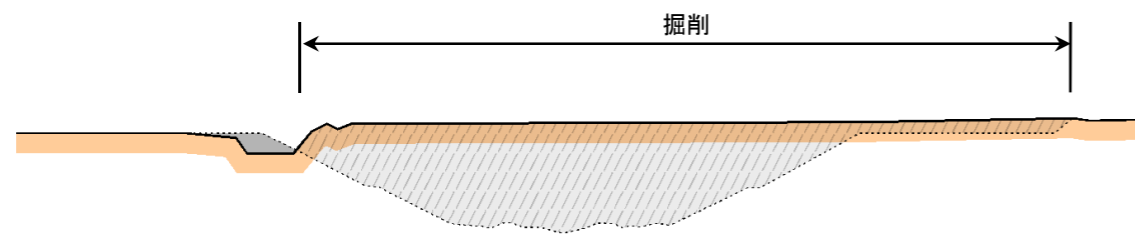


- ↑↑ : 横断面の位置
- : 整備実施予定の横断工作物

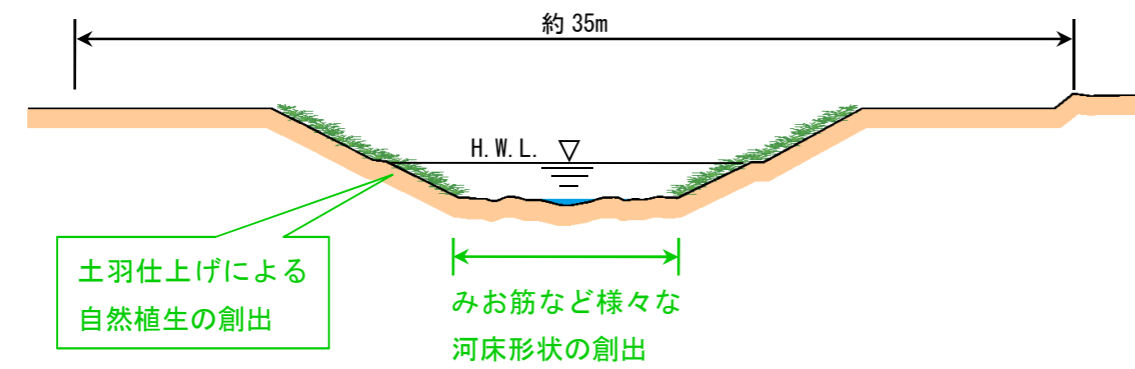
長浜新川平面図

右支川合流点から約1.2km

【改修前】



【改修後】

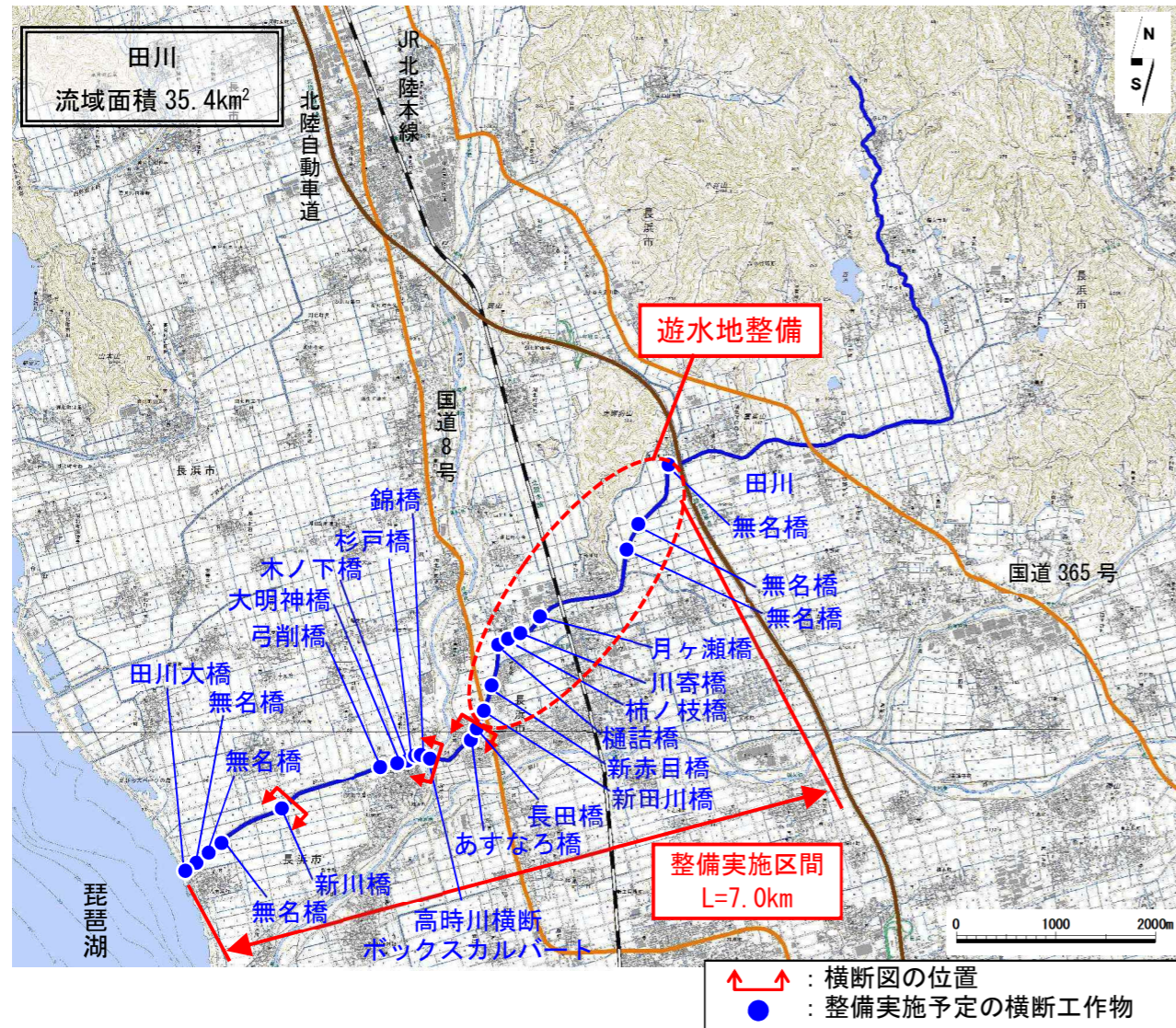


注：築堤・掘削の形状は状況により変更することがあります。

長浜新川横断面図

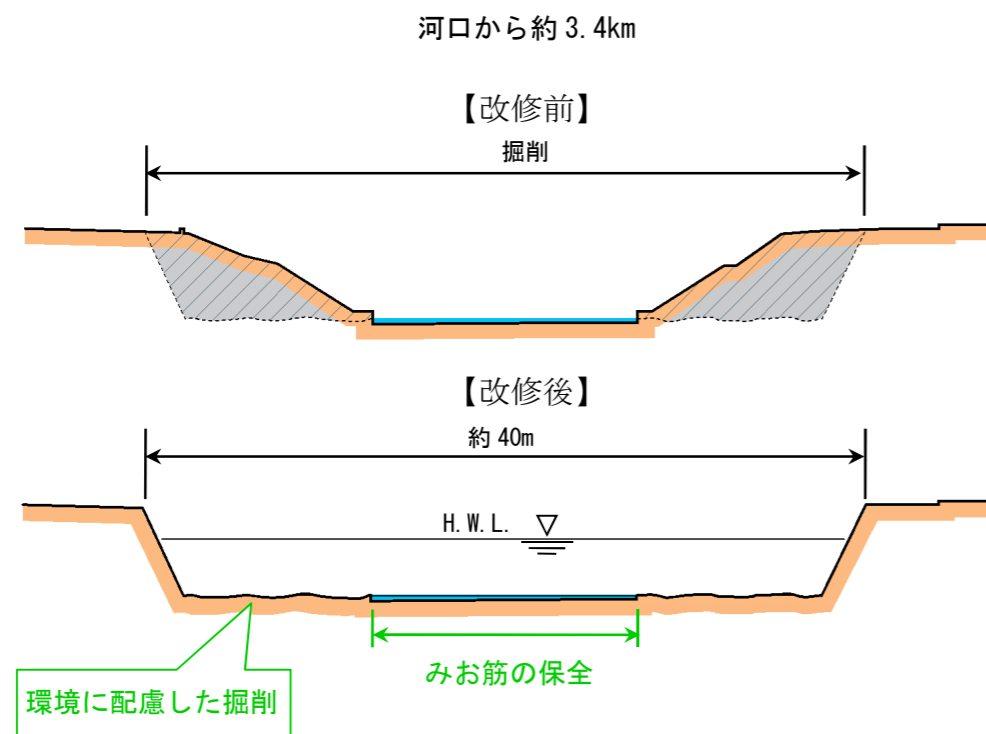
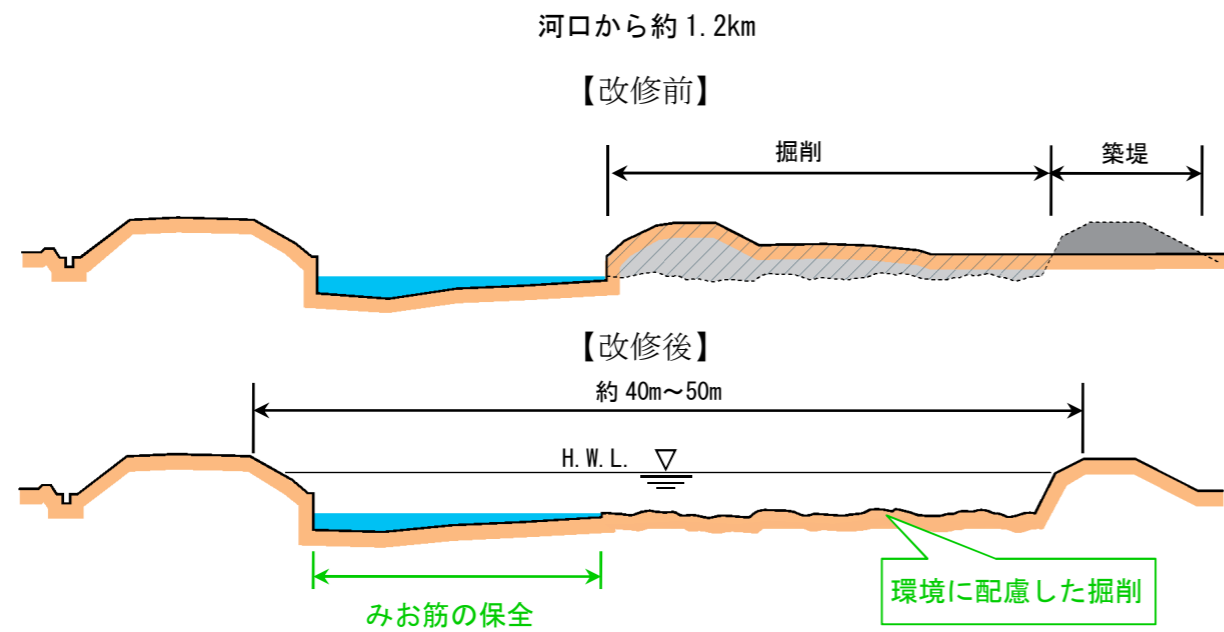
3.1.6 田川

田川では、流下能力が不足する区間について、高時川横断地点のボックスカルバートの新設や引堤、河道掘削等により河積の拡大を図るとともに、上流部に洪水を一時的に貯留する遊水地を整備します。河積の確保や遊水地の整備にあたっては、親水性に配慮するとともに、沿川の土地利用と一体となった整備を行います。周辺の水利用への影響がある場合には、関係者と事前に十分な協議を行ったうえで、適切な対応策を講じます。



注：遊水地整備の箇所や河積拡大の範囲は、今後の検討により変更となる場合があります。

田川平面図



注：築堤・掘削の形状は状況により変更することがあります。

田川横断面図